

川崎市南部リハビリテーションセンター南部日中活動センター

の指定管理予定者の選定結果について

1 概要

(1) 施設概要

名 称：川崎市南部リハビリテーションセンター南部日中活動センター

所在地：川崎市川崎区日進町 5 番地 1

施設内容：

- (1) 障害者総合支援法第 5 条第 7 項に規定された生活介護事業に関すること。
- (2) 障害者総合支援法第 5 条第 1 2 項に規定する自立訓練のうち、同法施行規則第 6 条の 6 第 2 号に規定された生活訓練事業に関すること。
- (3) 障害者総合支援法第 5 条第 1 3 項に規定された就労移行支援事業に関すること。
- (4) 障害者総合支援法第 5 条第 1 4 項に規定された就労継続支援事業のうち、同法施行規則第 6 条の 1 0 第 2 号に規定された就労継続支援 B 型事業に関すること。
- (5) 障害者総合支援法第 5 条第 1 5 項に規定された就労定着支援事業に関すること。
- (6) 関係機関のバックアップや、地域拠点として地域全体の支援やサービスの質の向上に資する取組に関すること。
- (7) 設置目的を達成するために必要な業務に関すること。
- (8) 川崎市が実施する支援施策との協同・連携に関すること。
- (9) 提案内容の確実な履行及び附属機関（民間活用事業者選定評価委員会）における意見等への対応に関すること。

(2) 指定期間

令和 8 年 4 月 1 日～令和 1 3 年 3 月 3 1 日

(3) 指定管理予定者の概要

名 称：社会福祉法人三篠会

所在地：広島市安佐北区小河原町 1 2 8 1 番地

主な業務内容：

- (1) 第一種社会福祉事業
 1. 救護施設の経営
 2. 障害児入所施設の経営
 3. 養護老人ホームの経営
 4. 特別養護老人ホームの経営 等
- (2) 第二種社会福祉事業
 1. 一時預かり事業の経営
 2. 保育所の経営

3. 幼保連携型認定こども園の経営
4. 病児保育事業の経営 等
- (3) 公益を目的とする事業
 1. 地域包括支援センターの経営
 2. 高齢者いきいき活動支援事業
 3. 診療所の経営
 4. 事業所内保育事業 等
- (4) 収益を目的とする事業
 1. 不動産賃貸業

2 選定の経緯

令和7年 5月19日 募集要項、仕様書等の配布
 令和7年 6月30日 募集締め切り
 令和7年 7月16日 民間活用事業者選定評価委員会
 令和7年 8月 8日 次期指定管理予定者を決定

3 応募状況

応募団体：1団体（社会福祉法人三篠会）

4 民間活用事業者選定評価委員会委員

【学識経験者】 赤塚 光子 （元立教大学コミュニティ福祉学部 教授）
 【学識経験者】 鬼塚 香 （駒澤大学文学部社会学科 准教授）
 【学識経験者】 柳田 正明 （山梨県立大学人間福祉学部 教授）
 【学識経験者】 渡部 匡隆 （横浜国立大学大学院教育学研究科 教授）
 【財務の専門家】 新井 努 （公認会計士）

5 選定理由

次期指定管理業務に関して仕様書に沿った提案がなされており、事業や収支計画が妥当と言える。また、利用者が住み慣れた地域で安心して豊かな生活ができるよう、利用者の就労や復職、社会復帰等を念頭に同一法人が運営する川崎ラシクルと連携した支援等の実施に加えて、医療的ケアが必要な方等の積極的な受入れや、利用者宅や屋外での訓練を行うなど、当該施設の設置目的や第5次かわさきノーマライゼーションプラン等を踏まえた提案を評価し、当該団体を選定した。

6 審査結果（※基準点855点以上）

選定基準	配点	社会福祉法人三篠会
①施設の設置目的の達成とサービスの向上	475点	311点

②施設機能の発揮と管理経費の縮減	3 5 0 点	2 1 0 点
③事業の安定性及び継続性の確保への取組	2 5 0 点	1 7 0 点
④応募団体自身に関する項目	1 5 0 点	1 0 5 点
⑤応募団体の取組に関する事項	1 2 5 点	7 5 点
基準評価合計	1, 3 5 0 点	8 7 1 点
加点点評価	7 5 点	4 7 点
実績評価		2 3. 7 5 点
総計	1, 4 2 5 点	9 4 1. 7 5 点

7 指定管理予定者として選定された団体の主な提案内容

項 目	事業内容
障害者支援に対する考え方、方向性、取組	(1) 生活介護から就労移行まで当該施設の役割や機能を最大限発揮し、利用者の多様なニーズに応えるとともに、障害福祉の積極的な増進に関する取組 (2) 同法人が同一建物内で運営する入所施設と連携した日中活動の展開 (3) 南部在宅支援室と連携し、利用者の住み慣れた地域での生活支援
施設運営計画（提供するサービスの考え方、日課等）	(1) 各リハビリテーションセンターとの情報共有や各専門職部会の実施による支援技術の向上 (2) 生活介護や就労移行など4事業を運営する多機能型の通所事業所の特性を活かし、それぞれの専門性を基にしたプログラムや支援、訓練の提供 (3) 同法人が同一建物内で運営する入所施設と連携し、利用者の要望や目標に対してより合致したサービスの提供 等
地域における他機関等との協同・連携についての考え方について	(1) 南部地域支援室・在宅支援室をはじめとした関係機関等と連携し、利用者が住み慣れた地域で生活を継続できるような支援の実施 (2) 同法人が同一建物内で運営する入所施設や在宅支援室のサービスとその調整機能をいつでも活用できるようリハビリテーションセンター内での連携 (3) 同法人が開催している「ラシクルマルシェ」への参加を通じた地域との良好な関係の構築と利用者のやりがいの獲得 等
危機管理・安全管理・虐待防止	(1) 「ふくふく」3階フロアの地区隊長として、日常から有事に備えた他機関との連携に努め、他事業所の避難誘導の指示等を行うなど、避難体制の整備

	(2) 医療的ケアが必要な方の「福祉避難所」として機能していくための柔軟な対応 (3) 同一建物内で運営する入所施設と合同で事故対策防止委員会を設置するなどの事故防止の徹底 等
個人情報保護	(1) 法人が定める「個人情報保護に関する基本方針」、「個人情報保護規程」等の徹底による個人情報の漏洩防止 等
上乗せ提案	(1) 他事業所での受入れが困難な方（重度障害の方、医療的ケアが必要な方等）の積極的な受入れ (2) 通過型の4事業を運営する多機能型事業所の機能を活かした、利用者のチャレンジや経験、将来に向けた選択肢・可能性の幅が広がる支援の実施 (3) 南部在宅支援室や入所施設の支援員等と連携した業務内容の開拓や就労支援の実施等による地域の障害者雇用拡大への貢献 等

8 提案額

年 額 22,638,000円 (1年間)
指定期間計 113,190,000円 (5年間)

川崎市健康福祉局障害保健福祉部
障害者施設指導課 施設調整・整備担当
Tel:044-200-0874 Fax:044-200-3932